

平成26年度 中小工務店・設計事務所が取り組むべき事業について

【新築の場合】

平成25年補正予算			平成26年予算		
●事業名	●金額	●キーワード	●事業名	●金額	●キーワード
木材利用ポイント事業	150億円	発行ポイントで農林水産品と交換	地域型住宅ブランド化事業	90億円	採択グループの構成員であること
			木造建築技術先導事業	90億円	大型建造物の木造・木質化
			①住宅・建築物省CO2先導事業	③④と併せて176億円	省CO2に関する技術の普及啓発
			②ゼロ・エネルギー住宅推進事業		一次エネルギー消費量のゼロ化
			スマートウェルネス住宅等推進事業 (省エネ、バリアフリー)	375億円	医療・福祉が連携して住宅の省エネ・バリアフリー化

【補助額】

●事業名	●内容
木材利用ポイント事業	対象木材を活用して一定基準を満たすこと。1棟あたり内装・外装材利用と併せて最大60万ポイント（特定被災地区80万ポイント）
地域型住宅ブランド化事業	木造の長期優良住宅の建設にかかる1戸あたり費用の1割以内かつ限度額100万
木造建築技術先導事業	木造・木質化することによる掛かりまし工事費、調査設計費等の1/2を補助
①住宅・建築物省CO2先導事業	省CO2技術にかかる建築物の整備費、省CO2に関する技術の検証に要する費用等の1/2を補助
②ゼロ・エネルギー住宅推進事業	ゼロ・エネルギー住宅とするための掛かりまし費用等の1/2を補助（限度額165万）
スマートウェルネス住宅等推進事業	既存住宅のリフォーム前後（建築新築時も検討中）の居住者の健康状況の変化の検証調査等にかかる費用の補助・改修費の補助の1/2を補助（限度額100万）

【リフォームの場合】

平成25年補正予算			平成26年予算		
●事業名	●金額	●キーワード	●事業名	●金額	●キーワード
木材利用ポイント事業	150億円	発行ポイントで農林水産品と交換	③住宅・建築物省エネ改修等推進事業	①②と併せて176億円	改修前と比較して、15%以上省エネ効果のある改修工事
長期優良住宅リフォーム推進事業（耐震・劣化）	20億円	既存住宅の長寿命化に資するリフォームの取組に対する支援	④長期優良住宅化リフォーム推進事業（耐震、劣化）		既存住宅の長寿命化に資するリフォームの取組に対する支援
			スマートウェルネス住宅推進事業（省エネ、バリアフリー）	375億円	医療・福祉が連携して住宅の省エネ・バリアフリー化

【補助額】

●事業名	●内容
木材利用ポイント事業	対象となる木材を活用して一定基準を満たすこと。内装及び外装木質化工事は最大30万ポイント。木材及び木質ペレットストーブ・薪ストーブ等は1製品あたり最大10万ポイント。
長期優良住宅リフォーム推進事業	既存住宅の耐震性や省エネ性などを一定基準以上に要するリフォーム費用等の1/3を補助 限度額100万
③住宅・建築物省エネ改修等推進事業	省エネ改修工事にかかる費用、バリアフリー改修工事にかかる費用等（省エネ改修と併せて実施）に1/3を補助 限度額：建築物5,000万（省エネ改修と併せて、バリアフリー改修工事を行う場合は7,500万）
④長期優良住宅化リフォーム推進事業	既存住宅の耐震性や省エネ性などを一定基準以上に要するリフォーム費用等の1/3を補助 限度額100万
スマートウェルネス住宅等推進事業	既存住宅のリフォーム前後（建築新築時も検討中）の居住者の健康状況の変化の検証調査等にかかる費用の補助・改修費の補助の1/2を補助（限度額100万）